

令和3年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	02	174070	起業・新事業展開推進事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	05 農工商観連携の推進	
	施策	01	起業の推進			
目的	市内企業の育成と発展を図るため、新規創業と新事業への展開を支援する。					
対象	市内企業					
意図	起業・創業と新事業の創出					
事業概要	市内事業所への総合的な支援体制の構築 30,355千円 起業化支援センター及びビジカフェはなまきの運営を通じた市内企業及び入居企業に対するコーディネート活動 生産技術研究開発推進 18,000千円 岩手大学との産学共同研究、新技術開発のための研究					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	セミナー・事業相談開催回数	回	計画	40.00	40.00	
			実績	14.00	4.00	
2	サテライトの研究会開催回数	人	計画	15.00	15.00	
			実績	13.00	15.00	
3	ビジカフェはなまきの無料相談件数	件	計画	25.00	25.00	
			実績	24.00	19.00	
成果指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	セミナー・事業相談参加企業数	社	目標	100.00	100.00	
			実績	62.00	41.00	
2	サテライトの研究会参加企業数	人	目標	40.00	40.00	
			実績	19.00	36.00	
3	ビジカフェはなまきの支援により起業・創業した数	件	目標	3.00	3.00	
			実績	6.00	4.00	
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）	
昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により施設の利用制限等が続きセミナー・相談会の開催が見送られ、「セミナー・事業相談開催回数」、及び「セミナー・事業相談参加企業数」は目標値に達しなかった。「サテライトの研究会開催回数」、「サテライトの研究会参加企業数」については、感染予防を徹底したうえで、開催回数は目標値に達し、参加企業数については目標値に達しなかったものの、増加傾向にある。起業・創業を希望する方のニーズを的確にとらえ、ビジカフェはなまきにつなぐことができたことにより、「ビジカフェはなまきの支援により起業・創業した数」は目標値に達した。また、昨年度より起業継続して相談を受けているものも数件あり、今後も起業・創業する方を見込んでいる。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 妥当である 見直し余地がある 妥当でない
有効性	成果の向上余地 向上余地がある 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある 適正である
総合評価	今年度の振り返り 起業化支援センター及び岩手大学と連携して市内企業を支援したことにより、市内企業の新規創業、技術及び研究開発等が推進された。
	次年度に向けて セミナー開催については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による市内企業への影響を注視しつつ、開催方法を含め、実施回数増加に向け検討していく。また、市内企業のニーズを捉えながら、セミナー内容について充実させることで参加企業の増加を図るほか、起業化支援センターの利用向上につながるよう、産学官連携の強化やコーディネート支援を総合的に展開していく。